

芦北町議会だより



うたせ

第78号

令和6年
11月5日発行

祝 県民体育祭優勝！



4連覇達成
葦北郡空手道

第79回熊本県民体育祭

創造的復興へ！

～スポーツの振興によるまちづくり～

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報委員会 TEL(0966)82-2511 FAX(0966)82-2894
印刷／(資)秀文社印刷所

9 月定例議会



9 月定例議会は、9 月 9 日に招集され、20 日までの 12 日間の会期で開催しました。

議案は、専決処分の承認、町財政の財政健全化判断比率などの報告、令和 5 年度一般会計、特別会計、水道事業会計決算の認定、令和 6 年度一般会計補正予算ほか特別会計補正予算、芦北町地域優良賃貸住宅管理条例の制定など、承認 1 件、報告 2 件、認定 8 件、議案 12 件の合計 23 件が上程されました。

なお、令和 5 年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算等については、各常任委員会に付託し、審議しました。

【決算審査等に伴う常任委員長報告は、4 ページから 9 ページに、議案等の内容と審議結果は、14 ページに掲載】

また、一般質問には、4 人の議員が登壇し、町執行部の考えをいただきました。

【一般質問の要約は、10 ページから 13 ページに掲載】

令和 6 年度 補正予算 **3 億 446 万円** 追加

全会計総額 198 億 6,827 万円

(1 万円未満を四捨五入)

会 計 名		補 正 額	補正後の総額
一般会計（専決含む）		2 億 2 8 5 万円	1 2 9 億 8,7 7 4 万円
特別 会 計	国民健康保険事業(事業勘定)	2 1 2 万円	3 0 億 3,4 9 3 万円
	介護保険事業	9,3 7 2 万円	2 5 億 4,8 7 2 万円
下水道事業会計		5 7 7 万円	3 億 9,3 7 7 万円
今回補正がなかった会計（町有温泉事業会計外）			9 億 3 1 1 万円
合 計			1 9 8 億 6,8 2 7 万円

主な事業 ＜一般会計＞

物価高騰重点支援給付金	5,6 0 0 万円
地域優良賃貸住宅建設工事	2,1 2 3 万円
鎌瀬地区防火水槽設置工事	7 5 0 万円
次世代型果樹園モデル実証事業補助金	4 8 6 万円
放課後児童健全育成事業補助金	4 4 5 万円

令和5年度決算の状況（全会計総額）

202億4,469万円を認定

各財政指標の推移等をみると、財政構造の弾力性を示す指標のひとつである経常収支比率は、89.5%と前年度に対し0.2ポイント減少、財政力指数は現状維持、実質収支比率も適正な数値を確保し、健全化判断比率及び資金不足比率においても良好な状態である。

ただし、地方交付税は減少が見込まれ、財源の確保が厳しくなることが予想されるので、持続的な財政基盤の構築と更なる財政健全化を図ることが重要である。（監査委員の「決算審査意見書」から抜粋）

◆一般会計、特別会計歳入歳出決算の総括

上段（ ）は、うち繰越分（単位：円）

会 計 名	歳入歳出予算額	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計	(2,183,821,369) 17,346,783,369	(2,089,988,058) 14,973,699,611	(2,079,341,248) 14,020,403,243
特 別 会 計 合 計	(168,399,000) 6,450,027,000	(159,447,500) 6,790,815,508	(159,379,000) 6,224,288,901
国民健康保険事業 （事業勘定）	3,033,758,000	3,124,017,384	2,933,207,027
国民健康保険事業 （直診勘定）	2,000,000	1,781,570	1,781,570
介護保険事業	2,478,114,000	2,756,069,003	2,424,650,725
農業集落排水事業	(168,399,000) 377,292,000	(159,447,500) 375,338,384	(159,379,000) 341,318,066
生活排水処理事業	61,839,000	59,446,801	51,370,203
町有温泉事業	137,924,000	130,936,826	130,936,826
奨学資金貸付事業	24,100,000	23,740,000	23,740,000
後期高齢者医療事業	335,000,000	319,485,540	317,284,484
合 計	(2,352,220,369) 23,796,810,369	(2,249,435,558) 21,764,515,119	(2,238,720,248) 20,244,692,144

◆年度別財政指標の推移

（単位：%）

年 度	経常収支比率	財政力指数	実質公債費比率	実質収支比率
令和3年度	86.3	0.35	4.3	16.5
令和4年度	89.7	0.35	4.6	12.1
令和5年度	89.5	0.35	4.9	13.8
標準値	70～80%程度	1に近く1を 超えるほど良い	18%未満	3～5%程度

◆芦北町水道事業決算報告書

区 分	収入予算額	収入決算額	支出予算額	支出決算額
収益的収入及び支出	254,563,000	250,795,967	243,829,000	219,543,829
資本的収入及び支出	33,166,000	27,875,800	119,171,000	110,563,831

総務厚生常任委員長報告

【令和5年度 決算審査】

林田 耀宏



【令和5年度決算状況】

一般会計の歳入決算総額：149億7,369万9,611円（対前年度1億3万2,362円増）

歳出決算総額：140億2,040万3,243円（対前年度3,278万1,271円減）

財政指標は、経常収支比率は0.2ポイント減の89.5%、実質公債費比率は0.3ポイント増の4.9%となり、総合的に判断し健全財政が保たれている。

◆一般会計

総務課

消防・防災対策など安全・安心なまちづくりに関する事業やDX推進、職員研修、町の情報発信事業のほか、令和2年7月豪雨災害に係る中長期派遣職員受入れなどが行われている。

【主な事業】

- ・消防・防災対策事業 町民の生命・財産を災害から保護するため、防災訓練を通じた関係機関との連携強化に取り組むとともに防災フェスティバルを開催し防災意識の高揚を図られた。
- ・DX関連 芦北町DX推進方針に基づきDX推進の基礎となる人材育成に取り組むとともに、住民生活課窓口等にキャッシュレス端末やセミセルフレジを導入し行政サービスの向上と会計業務の効率化を図った。

【主な質疑応答】

問 防犯カメラ設置支援事業について、これまでの実績と防犯カメラ設置による成果は。

答 197件310台分の補助実績があり、窃盗事件の犯人逮捕や検挙につながっている。



キャッシュレス端末・セミセルフレジ

企画財政課

町総合戦略に基づく地方創生の推進、国際交流の充実、人材育成、地域・民間団体の支援、公共交通機関の維持等に係る各種事業が実施されている。

【主な事業】

- ・国際化・国際交流事業 コロナ禍で中止していた海外派遣事業を再開し、英国へ中高生を8人、カンボジアへ小中高生を15人派遣し、現地で交流を深められた。
- ・移住・定住事業 本町への移住検討者のため、田浦地区に移住体験住宅を整備、また、令和2年7月豪雨災害の被災者等の住宅建築を支援するため、嵩上げ等の自助対策に対し最大50万円を助成する「芦北町すまい支援事業補助金」を交付した。

【主な質疑応答】

問 ふるさと応援寄附金のこれまでの累計額は

答 平成28年度から令和5年度までで10億6,700万円である。



カンボジア派遣事業

税務課

地方税法や関係法令等に基づき、厳正かつ公正、公平な課税、徴収が行われている。

令和2年7月豪雨災害の被災者には、固定資産税の損耗軽減など納税の負担軽減も継続して実施し生活再建のための後押しが図られた。

【町税の収納状況】

現年度分 調定額21億1,252万3,468円 収入額21億238万5,691円 収納率99.52%

滞納繰越分 調定額 2,706万3,898円 収入額 1,223万5,167円 収納率45.21%

現年分・滞納繰越分合計 収納率98.83%（前年度比0.22%増）

【主な質疑応答】

問 令和5年分のe-tax利用状況は **答** 1,203件の利用があった。

会計室

収入・支出等の厳正な審査と適切な資金管理を行い、収支計画を基に公金の安全かつ効果的な運用と円滑な資金調達をすることで、健全な行財政運営の確保に努められた。

【主な質疑応答】

問 資金管理はどのように行っているのか

答 年間の資金収支計画書を作成するとともに、毎月各課に歳入歳出予定表を提出させ、支払事務の滞りが生じないよう資金繰りの計画を立てている。

議会事務局

議会費と監査委員費が執行され、ほとんどが経常的な経費である。

各常任委員会と災害復旧・復興対策調査特別委員会の継続調査を定期的実施し、その内容を各委員長が全員協議会で報告するなど議員間の情報共有に努められた。

福祉課

総合計画に掲げる基本目標「地域で守り育てるまちづくり」を目指し、各事業で策定した計画を基に各種事業が実施されている。

【主な事業】

- ・ **児童及び母子・父子福祉事業** 送迎用バスへの置き去り防止のための安全装置導入補助を実施し、子どもの安全・安心の確保に取り組むとともに、18歳までの子ども医療費や保育所等を利用する3歳から5歳までの副食費の無償化は、継続した支援が行われた。また、物価高騰による影響を軽減するため、18歳未満の児童を養育する低所得の子育て世帯を対象に子育て世帯生活支援特別給付金の給付が行われた。
- ・ **社会福祉事業** 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」として、物価高の影響が最も大きい低所得者のうち非課税世帯に対し生活応援券の配布に加え1世帯あたり7万円の追加給付、住民税均等割のみ課税世帯に対し1世帯あたり10万円の給付、さらにこのうち18歳以下の児童がいる世帯に対し児童1人あたり5万円の追加給付が行われた。

【主な質疑応答】

問 保育所等と小学校の連携事業の内容について

答 児童の保育所等での「育ち」から小学校の「学び」への円滑な接続を図り、子どもたちのより良い成長を目的に保育士と小学校教諭による研修と意見交換の機会を設ける事業で、令和5年度は「気になる子どもへの支援」に関する講習と意見交換を行った。



保小連携事業

健康増進課

「あしたのために きたえよう 健康力!」をスローガンに掲げ、健康に関する各種事業が実施されている。

【主な事業】

- ・ **母子保健事業** 先天性難聴早期発見のため新生児聴覚検査に係る費用の助成を新たに開始、電子母子手帳アプリ「子育て応援あしきた」を新規に導入し、従来の母子健康手帳と併せて子どもの成長記録や予防接種の管理などでの利用推進が図られた。
- ・ **予防接種事業** 新たに19歳から59歳をインフルエンザ予防接種の助成対象とし、接種勧奨に努められた。



電子母子手帳アプリ「子育て応援あしきた」

- ・検診事業 受診率向上のため、初めて集団健診の対象となる20歳到達者や全額無料となる40歳到達者などに対して受診勧奨に努められた。

【主な質疑応答】

- 問** フッ化物洗口事業が行われているが、過去と比較してむし歯保有率に改善がみられているか
- 答** 平成25年度からフッ化物洗口事業を始めており、当時の中学1年生のむし歯保有率が54.61%であったが、令和4年度は39.32%と改善している。

住民生活課

環境対策に係る各種事業、清掃センター業務、住民基本台帳事務等の法定受託事務が行われている。

【主な事業】

- ・環境対策事業 「うたせ船で水俣病を学ぶ講座」や「もやい祭り」を4年ぶりに実施し、水俣病の教訓を伝えるとともに地域間交流や地域活性化が図られた。
- ・マイナンバーカード交付事務 本庁及び支所・出張所での申請受付や毎月第4日曜日に本庁を開庁し、カードの交付・申請等を行い普及に努められた。

【主な質疑応答】

- 問** マイナンバーカード関係のトラブルはあるのか、また、今後対処すべきことは何か
- 答** マイナンバーカードへの紐づけ誤りのようなトラブルは本町では発生していない。現在、医療機関でも保険証の登録が進められ申請も増えているので、個人情報の取り扱い等を含め適正に対応していく。



うたせ船で水俣病を学ぶ講座

◆特別会計

国民健康保険事業特別会計

【事業勘定】

被保険者の健康管理と疾病の早期発見、早期治療を目的とした人間ドックの助成や特定健診の受診勧奨など積極的に取り組まれている。また、18歳以下の子どもに係る均等割の減免を引き続き実施し子育て世帯の生活支援が図られている。

【直診勘定】

吉尾温泉診療所閉所後も吉尾地区から町内の医療機関への送迎を継続し、医療機関への受診機会確保に努められている。

【主な質疑応答】

- 問** 短期保険証の対象世帯は
- 答** 令和5年8月保険証更新時で63世帯が対象である。

介護保険事業特別会計

介護や支援の必要な方に対する適切な保険給付や食の自立支援事業等の介護予防事業・日常生活支援総合事業が行われている。

【主な質疑応答】

- 問** 認知症総合支援事業の内容は
- 答** 認知症の人が尊厳と希望をもって住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症への理解を深めるための普及啓発、認知症カフェの開催、多職種でのチーム支援、認知症地域推進員、認知症初期集中支援チームの配置、認知症サポーターの養成等を行っている。



認知症啓発講演会

後期高齢者医療事業特別会計

熊本県後期高齢者医療広域連合が保険者で、町では、申請や相談等の窓口業務及び保険料の徴収等を行っている。被保険者の疾病の予防及び早期発見・早期治療、健康増進のため後期高齢者健診を実施するとともに、はり、きゅう、あん摩施術補助券を交付している。

建設経済文教常任委員長報告

【令和5年度 決算審査】

草野 安道



◆一般会計

建設課

令和2年7月豪雨による道路や河川の公共土木災害復旧事業を最優先で実施、また、被災者の恒久的な住まい確保のため、2地区に災害公営住宅建設を実施された。

【主な事業】

- ・住宅等の整備 長寿命化計画に基づく五本松団地の外壁等の改修工事やシロアリ駆除予防作業、経年劣化に伴う修繕工事を実施、また、子育て世帯等に魅力ある住宅を提供するため、湯浦地区で地域優良賃貸住宅の建設工事に着手されている。
- ・復旧・復興計画 道路災害188件、269カ所の内、176件、254カ所が工事発注済み、また、河川災害227件、668カ所のうち216件、635カ所が工事発注済みで、今年度中に発注を完了したいとの説明があった。

【主な質疑応答】

問 老朽危険空家等除却促進事業の申込状況について

答 事前調査申込件数は22件、その内11件が事業対象となり補助を行った。

教育課

学校教育においては、芦北町教育立町の理念に基づき「知・徳・体」のバランスの取れた教育を行い、基礎学力の向上や情操教育、国際理解教育、情報化教育などを総合的に推進し、安心して学ぶことのできる教育環境の整備に努められている。

【主な事業】

- ・学校施設整備事業 小学校4校のトイレ改修工事等が実施され、教育環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られている。
- ・学校給食 令和5年度から学校給食費の完全無償化が実施され、子育て環境の更なる充実が図られている。

【主な質疑応答】

問 給食会計が公会計となったことによるメリット等は

答 食材の単価高騰などで調達費が不足する場合でも町が年間を通して管理するため、計画的な食材調達ができ安定供給ができる。

商工観光課

商工業の育成と振興については、物価及び燃料費等の高騰に対応するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施し、町内における消費活性化に寄与されている。

【主な事業】

- ・企業誘致 サテライトオフィス計石・田浦において、お試しワーケーション体験事業等を実施し、新たに4件の進出協定が締結された。
- ・御立岬公園 令和4年10月にオープンした第2キャンプ場の利用者が増加し、新たな客層の誘客に繋がっており、公園内の各種施設利用との相乗効果が表れている。
- ・あしきたマリンパーク再整備事業 熊本県と連携し、旧国民年金保養センター解体工事とあしきたマリンパーク進入路整備工事が実施された。

町の観光入込客数は、前年比4%増の98万7,377人。

【主な質疑応答】

問 観光うたせ船は何隻あるのか

答 レディース船を含め4隻あるが、漁師の高齢化や漁獲量の減少等の課題もあり、今後、既存の観光うたせ船の他、クルーズ船等としての活用も検討していく。



観光うたせ船

スポーツ・文化振興課

【主な事業】

- ・ **スポーツの振興** スポーツ団体へ育成補助金、九州大会以上に出場した選手・監督への補助、また1年間で最も活躍した選手・指導者に対しスポーツ賞及び奨励金を交付し、スポーツ団体の育成や競技力向上が図られた。
- ・ **文化の振興** 九州大会以上への出場者に補助を行い、また、文化振興奨励賞の交付により、文化活動に対する意識の向上が図られている。
- ・ **星野富弘美術館** 作品展示や詩画公募展のほか、学校出前講座が行われ、命の大切さや優しい心を育む「心の教育」の推進が図られている。

【主な質疑応答】

問 佐敷東の城跡は国指定史跡に指定される可能性はあるか

答 令和5年度に調査検討委員会を設立し、文化庁と連携を取り全体調査にあたっている。今後調査を継続することで国指定の可能性が増すと思われる。

コミュニティセンター課

【主な事業】

- ・ **青少年の健全育成** 放課後子ども教室や子ども広場の運営により、子どもたちの活動拠点づくりに努められている。
- ・ **図書館** 町民のニーズに合った図書の提供と適切な蔵書管理により、心豊かな人間を育む知の情報拠点としての機能を果たされている。
- ・ **子どもの広場** 利用者の見守りなど安全・安心に配慮した運営が行われている。

【主な質疑応答】

問 成人式を現在の開催日以外での開催を検討していないか

答 他市町村では正月やお盆等に開催があることは承知しており、将来的に検討が必要と思われる。

上下水道課

飲料水供給施設の改修を行う塩浸上組水道組合に対して助成され、生活用水の安定供給が出来たことで、地区住民の生活環境の改善が図られている。また、浄化槽設置費助成事業において、27基の新規の合併浄化槽設置に対し助成され、快適で衛生的な住環境が確保されている。

【主な質疑応答】

問 浄化槽設置補助金の予算50基分に対し、実績が27基となった要因は

答 災害からの復旧・復興が進み、被災者の生活再建が完了しつつあることが要因と思われる。

農林水産課

【主な事業】

- ・ **有害鳥獣被害対策** 防護柵の設置、わな免許取得及び箱わな等の購入に助成され、通年での有害鳥獣駆除も行われている。令和5年度の捕獲実績は、イノシシ1,192頭、シカ2,290頭で、シカの捕獲数は年々増加している。
- ・ **漁業の振興** 稼げる水産業づくりを目的に、地理的表示（GI）として登録された田浦銀太刀に対する支援や、マガキの産地化に向けた取組、また、あさり貝の漁獲量増加のための被覆網による保護・管理の取組に対する支援が行われている。
- ・ **農地等の復旧** 令和2年7月豪雨災害で国の補助を受けて実施する災害復旧153件のうち、農地75件及び農業用施設61件が令和5年度までに竣工、また、小規模な災害については、町単独事業により早期復旧が図られている。
- ・ **林道等の復旧** 被災した林道14路線の全てが令和5年度までに完了した。



田浦銀太刀

【主な質疑応答】

問 有害鳥獣を捕獲した後の処理はどうしているのか、また処分場の検討は

答 捕獲者の責任において埋設処理をしている。処分場の設置は町単独では難しく、水俣芦北地域広域で処分場等について検討中である。

◆特別会計

農業集落排水事業特別会計

農業集落排水施設への新規接続が26件、水洗化率は84.0%となっている。また、施設の長寿命化と機能保全対策のため、芦北地区農業集落排水処理施設の更新工事が実施され、適切な施設管理に努められている。

【主な質疑応答】

問 排水処理場の今後の更新計画は

答 令和7年度から11年度の5カ年で芦北・米田処理場の更新工事を実施する計画である。

生活排水処理事業特別会計

田浦地区及び湯南団地の浄化槽維持管理を実施し、浄化槽の処理状態及び放流水の水質状況に合わせた適正な管理が行われている。

町有温泉事業特別会計

施設の維持・修繕などを行い、利用者の入浴環境改善と利便性向上に努められ、安全・安心な施設運営に取り組まれている。なお、令和5年度の総入浴者数は、前年度比3.5%増の20万8,115人となった。

【主な質疑応答】

問 大野温泉センターの入浴者数が減少している理由は

答 職員の高齢化や人員確保が困難なことから、月2回の休館日を毎週火曜日休館とし営業日数が減少したため。



大野温泉センター

奨学資金貸付事業特別会計

高校生及び大学生等35人へ奨学資金の貸付けが行われ、町内の学徒で経済的理由による修学困難者へ便宜を図り、社会的有能な人材の育成に寄与されている。

【主な質疑応答】

問 貸付者に専門学校生もいるが、どのような種類の専門学校なのか

答 現在の貸付者では、看護やリハビリ関係など医療系の専門学校である。

◆公営企業会計

水道事業特別会計

配水管布設替工事や花岡浄水場の送水ポンプ修繕及び残留塩素計更新工事が実施され、老朽化した機械設備の更新や配水管取替を計画的に進め、水道水の安定供給に努められている。

なお、令和5年度の未処分利益剰余金2億4,050万6,013円を翌年度に繰越す。

【主な質疑応答】

問 水道管の布設替えについての今後の方針は

答 補助事業等を活用し、計画的に管路の耐震化を推進していく。

◆条例制定

「芦北町地域優良賃貸住宅管理条例の制定について」

町の人口減少の要因の一つである若者や子育て世帯の転出抑制と町外からの移住定住の促進を図ることを目的に、湯浦地区に建設中の地域優良賃貸住宅の供用開始に伴い、条例が制定され団地の名称は「友田団地」、「木造2階建て、戸数15戸」、また、家賃は「月額6万円」と設定されている。

【主な質疑応答】

問 入居の申込はいつからか

答 入居申込の時期は、広報紙やホームページに掲載しお知らせする。



友田団地完成イメージ図

計石地区水田の 基盤整備計画は どうなっているのか！



長口 隆 議員

質 計石地区水田の基盤整備計画の進捗状況はどうなっているのか。また、基盤整備計画に併せて町道計石村中線を整備する考えはないか。

答 杵農林水産課長

平成27年度から県営事業として基盤整備の推進に取り組んできた。JAあしきたが参入し、客土を伴う基盤整備と排水機場設置を整備内容として、協議してきた。令和2年7月豪雨災害の影響で、地権者の農地嵩上げに対する浸水被害の不安もあり、事業化に向けた同意が得られない状況である。

答 鎌倉建設課長

町道計石村中線は、令和6年度は実施設計、令和7年度以降計画的に整備を実施する予定である。

質 整備計画では、新たな排水機場が整備内容に含まれているので、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興事業の象徴的な事業の1つとして、計石地区地元説明会にも臨んで成し遂げていただきたい。

答 竹崎町長

あらゆる選択肢、中止も含めて検討しなければ出来ない状況にある。大事な農地であることは、いささかも思いは変わらない。

質 自伐型林業の進捗状況及び活動の支援策について

自伐型林業の担い手確保に向けてどのような対策を行っているか。また、町有温泉加温補助燃料として、町産薪を活用した薪ボイラーを導入する考えはないか。

答 杵農林水産課長

5月末に自伐型林業フォーラムを開催し、現在は興味のある方17名を対象に、座学、実地研修を行っている。



自伐型林業の実地研修状況

答 釜商工観光課長

導入に係る追加設備の初期投資費用、運用に係る薪代ボイラーへの機能供給に係る人件費など、費用対効果を検討する必要がある。

質 町有温泉加温補助燃料は年間どれだけの化石燃料を使用しているのか。その金額はどれだけか。燃料高騰前と現在では、どれくらいの差額があるのか。

答 釜商工観光課長

表のとおり

(表)

	灯 油	重 油
R5年度 使用料	258,025 ^{リットル}	154,600 ^{リットル}
	25,299,351円	18,907,240円
R元年度比	6,179,698円の増	4,838,640円の増

質 重油1キロリットル価格は12万円で、同等の熱量換算では、薪1立米当たり3万円に相当する。農林水産課と協議され、将来の導入を検討されたい。

答 釜商工観光課長

しかるべきタイミングで将来的な検討を行いたい。

花岡西地区の浸水対策について

質 肥薩おれんじ鉄道及び国道3号より東側のコミュニティセンター付近は集中豪雨の際、排水路の狭小による浸水被害の不安があるが、その対策はどうなっているのか。水位測定器をコミュニティセンター前の水路に設置して、いち早く排水機場遊水地の水位を極力低位に保つ考えはないか。

答 鎌倉建設課長

国道3号暗渠断面の拡幅について現在、工法や交通規制など様々な課題解決に向けて、国土交通省と協議を重ねている。異常気象時の排水機場遊水地の水位を低位に保つため、水位計の設定を調整し適正に管理を行う。



寺本順一 議員

第9代熊本県町村会長 就任について

質

昨年8月に竹崎町長は、熊本県第9代町村会長に就任された。町民にとって大変名誉なことである。就任されてからの所感についてお聞きます。

答

竹崎町長

前会長のご突然のご勇退に伴うもので、まさしく青天のへきれきであり、夢想だになかったことであつた。就任に合わせ、約50件の組織団体の代表をはじめ、多くの役職に就くことになり、県全体の均衡ある発展を図っていく立場になった。全国町村会の構成員として、国政により近い距離から地方の声を届けることができるようになり、その重みと大なるものを日々感じており、今後一層研さんを積んでいかなければいけないと思っている。

町長選出馬について

質

9月3日の熊本日日新聞によると、芦北町長選挙は、来年の1月19日に投票日が決定したが、まだ誰も立候補を表明していないという記事であつた。

竹崎町長には多選を憂慮する声、また続投を期待する声の両方があるが、次の町長選挙について、どのように考えているのか。

答

竹崎町長

政治家というものは、短ければ良いと言う人もおり、又長ければ、それはそれで又良しと言う意見もあるが、そういう時の刻みで測るのではなく、物事に対する信念、理念、熱情、そして健康、そういうものが総合的に備わってはじめて、政治の道というものが確立されていくものと思っている。

しっかりと真摯に受けとめ、今後態度決定をしたいと思う。平成17年、田浦町・芦北町との合併時、新町長として就任以来、「すべては次代を担う子どもたちのために」を政策の根本に据え、各種事業を展開してきた。

この半世紀、国は地方の時代、ふるさと創生、地方創生等々、政策看板を変えながら、高速交通体系をはじめとするインフラ整備、災害から生命財産、生活を守る国土強靱化などを進めてきたが、依然として、東京など首都圏への一極集中、地方の疲弊衰退は変わらず、都市と地方の格差は広がるばかりである。

少子化による人口減少で、先の5月、消滅可能性自治体が出てくるという、日本創成会議からの愚論が発表され、論調はまさに噴飯ものであつた。

真のリーダーがいなくなつたと憂慮するのは私一人ではないと思っている。



健康保険証、12月マイナンバーカード移行 円滑な移行と 対応の徹底を！



楠原清照 議員

表（1）健康保険証のマイナンバーカード移行の概要

【マイナンバーカードの交付率】	芦北町83.5%（R6/7/31現在）県平均82.7%
【マイナンバーカード取得のメリット】	①身分証明書となる ②健康保険証として利用できる ③全国のコンビニで住民票等取得可能（住民票の写し・住民票記載事項証明書・印鑑登録証明書・所得課税証明書・所得証明書） ④スマホ・パソコンのインターネット環境でマイナポータルと連携し税金の申告ができる等
【健康保険証のマイナンバーカードへの移行時期】	12/2現行健康保険証発行終了、マイナンバーカード保険証へ切り替わる（マイナンバーカードへ健康保険証情報を登録することで切り替わる。）
※マイナンバーカードを取得している方	【健康保険証情報のマイナンバーカードへの登録方法】 ①役場住民生活課窓口で登録する ②医療機関や薬局に備え付けのカードリーダーで登録する ③スマホ、パソコンのインターネット環境下マイナポータルで登録する
※マイナンバーカードを取得していない方及びマイナ保険証を登録していない方	①現行の健康保険証は有効期限まで使用可能 ②新たな健康保険証の発行はしない ③健康保険証の代わりに「資格確認書」を発行 ④「資格確認書」でこれまでどおり使用可能（できるだけ早期にマイナンバーカードを取得しマイナ保険証を登録活用することが望まれる。）
【マイナンバーカードの取得及び健康保険証のマイナンバーカード登録促進対応】	9月～11月の期間中、日曜日、夜間の申請窓口開設予定

質 健康保険証のマイナンバーカードへの移行にかかる対応等を問う。

答 田中住民生活課長
表（1）のとおり。

地域おこし協力隊員の定住化推進は

質 地域おこし協力隊の活動の現状と定住化推進を問う。

答 竹崎町長

これまで以上に採用の拡大を目指すとともに活動終了後

の着実な定住に向け支援策等の充実を図る。

答 白坂企画財政課長

平成29年度からこれまで20人採用。退任11人のうち6人定住。活動内容は、大野地区集落サポート、特産品開発、コイデインターネット、オリブによる農業と観光の産業創出、

地域DX推進、自伐型林業促進、有害鳥獣対策促進など。任期中から町内就職先マッチング支援。退任後は、企業や事業承継の場合は建物借上料等の経費に対し上限100万円支援。家賃補助支援も検討する。

答 柊農林水産課長

有害鳥獣対策ではイノシシ、シカの生息状況分析、捕獲活動の結果、捕獲頭数が増加している。

答 釜商工観光課長

地域DX推進応援隊として、町内商工事業者のDX推進、芦北高校クリエイティビティ部の支援等を行っている。



芦北高校クリエイティビティ部
地域活性化企業人との意見交換会



百田翔吾 議員

小中学校の教育環境の 更なる充実を！

質 地域行事や学校行事に参加する中で、PTAより田浦小学校の外壁改修を望む声が幾つも届いた。

田浦小学校の外壁の改修計画はどうなっているのか。

答 岩田教育長

築45年となっており、老朽化が進んでいる。これまでトイレ改修工事や手洗い場改修工事を実施した。外壁工事については、実施に向け検討しているところである。町内の他の小中学校も施設の老朽化が進んでおり、多くの改修の対応に迫られており、緊急性の高いものから計画的に実施している。

小中学校の熱中症対策は

質 全国的に異常な暑さが続く近年、本町の小中学校熱中症対策について具体的に伺う。

答 宮島教育課長

学校では、こまめな水分補給や休憩時間には冷房の効いた部屋を活用する等指導している。また、暑さ指数や体調に応じた活動量の調整等配慮している。校舎や施設の熱中症対策として教室への空調設備や遮光カーテンの設置や運動場に日陰を作るテントの設置、体育館への大型扇風機の設置などで環境を改善する取

組を行っている。

質 体育館に冷暖房空調設備を設置する考えはないのか。

答 岩田教育長

近年の異常気象や熱中症警戒情報の法的な義務付けを踏まえると学校の屋外活動はさらに制限される。また、体育館は子供達の教育の場のみならず、災害時の避難所としての位置づけられているため、空調設備設置は必要と認識して

いる。空調設備の設置には多額の費用が必要となるため、国の補助を活用しながら計画的に実施したいと考えている。

質 ゆとりある学習指導の実現、授業時間の確保や教職員の負担軽減の観点から夏休みの短縮の考えはないのか。

答 岩田教育長

メリット、デメリットを踏まえ、夏休みの短縮を既に実施している。



改修された田浦小学校のトイレ



体育館に設置された大型扇風機

令和 6 年 第 3 回芦北町議会定例会 審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
承認第 5 号	専決処分の承認を求めることについて 令和 6 年度芦北町一般会計補正予算（第 2 号）	概要等は P 2 に掲載	承 認
報告第 5 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告	報 告
報告第 6 号	芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果の報告について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく報告	
認定第 1 号	令和 5 年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、4～9 に掲載	認 定（全会一致）
認定第 2 号	令和 5 年度芦北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、6 に掲載	
認定第 3 号	令和 5 年度芦北町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、6 に掲載	
認定第 4 号	令和 5 年度芦北町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、9 に掲載	
認定第 5 号	令和 5 年度芦北町生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第 6 号	令和 5 年度芦北町有温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、9 に掲載	
認定第 7 号	令和 5 年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、9 に掲載	
認定第 8 号	令和 5 年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、6 に掲載	
議案第60号	令和 5 年度芦北町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	概要等は、P 3、9 に掲載	可決及び認定 （全会一致）
議案第61号	令和 6 年度芦北町一般会計補正予算（第 3 号）	概要等は、P 2 に掲載	可 決（全会一致）
議案第62号	令和 6 年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）		
議案第63号	令和 6 年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）		
議案第64号	令和 6 年度芦北町下水道事業会計補正予算（第 1 号）		
議案第65号	芦北町地域優良賃貸住宅管理条例の制定について	湯浦地区の地域優良賃貸住宅の供用開始に伴う条例の制定	
議案第66号	芦北町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	マイナンバーカードの保険証利用に係る国民健康保険法の一部改正に伴う改正	
議案第67号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	マイナンバーカードの保険証利用に係る熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に伴う変更	
議案第68号	財産の取得について	消防用積載車 2 台の購入	
議案第69号	工事請負契約の変更について	湯浦地区地域優良賃貸住宅建設工事の建築について契約金額の変更	
議案第70号	工事請負契約の変更について	湯浦地区地域優良賃貸住宅建設工事の電気設備について契約金額の変更	
議案第71号	工事請負契約の変更について	湯浦地区地域優良賃貸住宅建設工事の機械設備について契約金額の変更	

令和2年7月豪雨災害 復旧・復興対策調査特別委員会 委員長 宮尾 秀行

災害復旧事業（農林水産関係）
進捗率は**88%**

【現地調査】広域農道の復旧状況は！

8月26日に県が管理者である女島西（坂本）の「芦北管内治山事業（交付金）林地荒廃防止事業」と町管理で県が代行事業の「県営農地等災害復旧事業（広域農道 鶴木山工区）」の現地調査を行い、工事の概要及び進捗状況等を確認しました。

各工事現場の状況等については、熊本県芦北地域振興局農林部の林務課長及び農地整備課長から説明を受けました。調査の概要等（事業説明・主な質疑応答）は、次のとおりです。

①芦北管内治山事業（交付金）林地荒廃防止事業

本施工地は、豪雨により溪岸侵食が発生し、土砂が下流へ流出した箇所で、そのまま放置すれば、下方の人家等に多大な被害を及ぼす恐れがあったため、谷止工等を施工し荒廃溪流の安定を図っている。

路線名・河川名	施工箇所	管理者	進捗状況	備考
女島西（坂本）	女島西	熊本県	施工済	工期：R5.7.28～R6.6.28 谷止工（コンクリート）V=408.2㎡ 流路工L=15.1m

②県営農地等災害復旧事業

本施工地は、豪雨により広域農道の法面が崩壊し、道路及び下方の民家が被災した箇所で、土砂撤去のほか、道路のルートを変更した復旧を行っている。現在、法面工事中で工事全体は令和7年3月完了予定。

路線名・河川名	施工箇所	管理者	進捗状況	備考
広域農道 鶴木山工区	鶴木山	芦北町	施工中	工期：R5.3.1～R7.3.18、農道復旧延長 413m 土砂撤去工 約9万㎡、法枠工 1,728㎡ 擁壁工 852㎡、排水構造物工 721m グラウンドアンカー及び鉄筋挿入工 565本



【女島西(坂本)】流速を抑え地形に合う形状



【広域農道鶴木山工区】改良復旧で施工中

質 疑 応 答

① 女島西（坂本）

問 林地荒廃防止事業で、流路工の設置位置はなぜ中央ではないのか。

答 流路工の設置位置は、流速を抑え既設の水路につなげるために、地形に合う場所に設置している。

② 広域農道鶴木山工区

問 復旧する道路ルートが変わっているが、災害復旧は原形復旧ではないのか。

答 災害復旧は基本的に原形復旧であるが、本現場は、盛土部分の崩壊による災害のため、崩壊した盛土の復旧よりも道路のルートを変更し盛土部分を極力無くすことで住民の不安を払拭できると考え、国と協議し、改良復旧という方法を選択した。



現地で説明を聞く委員

令和6年度 町村議会議員研修会



オンラインで講演を受講する議員

10月9日に第1回熊本県町村議会議員研修会がオンライン形式で開催されました。

講師の大正大学地域創生学部教授江藤 俊昭氏が、「議会改革による【議員のなり手不足】打開の道」（住民自治の根幹としての議会の作動）と題して講演されました。その内容は、地方議会の重要かつ喫緊の課題と言えるテーマで、今後の議会運営に大変参考になるものでした。

議会のうごき

- 8月 9日（木）県町村議会議長会理事会（オンライン）
- 26日（月）令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会
- 27日（火）町村正副議長研修（オンライン）
- 9月 3日（火）議会運営委員会、議会全員協議会
- 9日（月）9月定例会開会（議案審議）
- 10日（火）9月定例会（一般質問）
- 11日（水）総務厚生常任委員会 建設経済文教常任委員会
- 12日（木）総務厚生常任委員会 建設経済文教常任委員会
- 20日（金）9月定例会閉会（議案審議）、議会広報委員会
- 10月 9日（水）町村議会議員研修会（オンライン）
- 15日（火）水俣芦北地域振興計画に係る後期要望活動（東京都）、議会広報委員会

次の定例会は12月開催予定です。

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しています。

議会広報委員会

委員長	楠原 清照
副委員長	川口 成隆
委員	宮尾 秀行
委員	寺本 順一
委員	林田 耀宏

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、9月25日の彼岸明けで幾分か過ごしやすくなりました。

元旦の石川県能登半島地震から約8カ月が経過し、被災地では、やっと前向きな気持ちになられたところ。今回の豪雨災害、中学生のお孫さんを亡くされた方は「神も仏もないのか」と涙ながらにインタビューに答える姿が痛ましく、今も心に残っております。

そのような中、被災地に少しでも笑顔と元氣を取り戻したいと地元石川県出身の「大の里関」が大相撲9月場所で見事幕内優勝を果たし、大関に昇進されました。

被災地の方々は、この話題で少しは元気づけられたのではないのでしょうか。

またメジャーリーグの大谷選手の活躍もきつと被災地の方々に勇氣を与えてくれるものと思っております。

皆様におかれましては、普通の生活が出来ることに感謝して、毎日を健康で元氣にお過ごし下さい。

（寺本 順一）

ちよつと
いっぴく

